

19: GVHD 予防法と GVHD

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	血液内科
大島 久美	ときわ会 常磐病院	内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 剛二	中部さい帯血バンク	
諫田 淳也	京都大学医学部附属病院	血液内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
瀬尾 幸子	獨協医科大学病院	血液・腫瘍内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院	
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
東梅 友美	山形大学大学院医学系研究科	内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野
仲宗根 秀樹	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
森島 泰雄	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座/中部さい帯血バンク
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
綿本 浩一	小牧市民病院	感染管理室
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学

小林 真一	防衛医科大学学校病院	血液内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
伊藤 歩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
西森 久和	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
松岡 賢市	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
式 郁恵	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
豊崎 誠子	東海大学医学部内科学系	血液腫瘍内科
福島 健太郎	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	血液内科
新井 康之	京都大学医学部附属病院	血液内科
大屋敷 一馬	東京医科大学病院	血液内科
大和田 千桂子	千葉大学医学部附属病院	血液内科
芹澤 憲太郎	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
斎藤 雄弥	東京都立小児総合医療センター	血液・腫瘍科
岸本 健治	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液・腫瘍内科
西川 英里	名古屋大学医学部附属病院	小児科
本橋 賢治	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
下村 良充	地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
赤星 佑	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
石井 敬人	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
井上 靖之	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	血液内科
河野 利恵	大分大学 医学部	腫瘍血液内科
進藤 岳郎	京都大学医学部附属病院	血液内科
西川 拓朗	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
橋本 大吾	北海道大学病院	血液内科
村主 啓行	京都大学医学部附属病院	血液内科
山本 暢之	兵庫県立こども病院	血液腫瘍内科
若松 学	名古屋大学医学部附属病院	小児科
吉永 則良	京都桂病院	血液内科
後藤 辰徳	名古屋第一赤十字病院	血液内科
小林 彩香	防衛医科大学学校病院	血液内科
櫻井 政寿	慶應義塾大学医学部	血液内科
武田 航	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

2. 会議開催記録(2018年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2018年 1月7日	国立がん研究センター中央病院	承認研究進捗状況の確認および今後の方針についての検討

3. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2018年12月末時点まで)

(1194)回

4. WGの今後の活動方針・抱負など

当WGの各研究課題は精力的に進められており、国際学会・国内学会への発表はもちろん論文文化についても順調に進行中である。今後も現在進行中の承認研究を着実に進行させるとともに、積極的に新規研究を立案していくことを目標とする。